

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりを大切にし、子どもの成長を誰もが実感し、安心・安全な生活が実現できる学校を創ります。 並木のまちを故郷として大切に思えるよう、並木のまちの人との深いかかわりを通して、学びの充実と心の育成を図ります。 「子どもにとってを全てに」を常に念頭に置き、価値ある学びづくりや生活づくりを通して個性を引き出し、自分の成長を実感できるようにすることで、確かな自信や自尊感情を深めたり自己有用感を高めたりします。 教職員が組織力を活かした指導を行うことができる学校運営組織を創るとともに、自己の研鑽を常に積み、資質向上を図ろうとする活力のある組織の強化を目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	① 「豊かな心の育成推進プラン」の基本方針や指導内容、指導方法についての共通理解の場を設け、子どもの実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、全学級の授業公開を年1回以上実施します。
担当 研究部 (学習指導)	② 学級の枠に捉われず、学年やブロックとしての活動機会を設けるとともに、縦割り班活動を設け、思いやり・協力・達成感を味わえるよう活動を支援します。 ③ 子どもたち主体の生活づくりを意図し、児童運営委員会、児童人権会議を計画的継続的な活動として位置付けます。

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

落ち着いて穏やかに生活している。地域からの協力も得られ、人との関わりをもつことができる。学校や学年、学級の取組に対して素直に関わり、集団をよりよくしていこうという意識が見られる。子ども人権委員会を中心にあいさつ活動に取り組み、自分からあいさつをすることができる子どもが増えてきている。素直なよさはあるが、受け身であることがあるので、積極性を育て、自ら課題を発見し、取り組む姿勢を育成していきたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・「児童会活動」「クラブ活動」「たてわり活動」「ペア学年交流」「幼稚園・保育園との交流」「中学校との交流」を取り入れます。
→異年齢との交流活動をより自主的、意欲的に行い、人との関わりに関する道徳的価値を高めます。
- ・子ども人権委員会を中心に学校の課題や子どもの思いに即した活動を実施します。
→人との関わりを大切にし、思いやりの気持ちを育てます。
- ・子どもの実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、全学級の授業公開を年1回以上実施します。
→道徳科への家庭・地域の理解を得られるようにします。

【項目 自分づくり（キャリア）教育】夢や希望、目標をもてる子どもを育成する自分づくり教育（必須項目）

- ・各教科、領域においての教師の価値づけを計画的に行うとともに、「のびゆく姿」の機会を効果的に活用することを通して、振り返りや内省の時間の充実を図ります。
- ・振り返りを通して成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりするようにします。